第23回機能性表示食品等の健康被害情報への対応に関する小委員会（第１小委員会）
令和８年11月24日
資料３

厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

（2）指定成分等含有食品の健康被害情報について

厚生労働省 健康・生活衛生局
食品監視安全課 食品健康被害情報管理室
Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

指定成分等含有食品との関連が疑われる健康被害情報
（令和8年9月1日～令和8年9月30日）

【1. 指定成分等含有食品との関連が疑われる健康被害報告件数（月別・性別）（単位：人）】

含有する指定成分等	（製品数）	9月			累計
		男性	女性	不明	
コレウス・フォルスコリー	（2）	1	2	0	3
ドオウレン	（0）	0	0	0	0
プエラリア・ミリフィカ	（0）	0	0	0	0
ブラックコホシュ	（0）	0	0	0	0
合計	（2）	1	2	0	3

【2. 年齢（単位：人）】

含有する指定成分等	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	不明	累計
コレウス・フォルスコリー	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
ドオウレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プエラリア・ミリフィカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブラックコホシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3

【3. 主な症状（多い順）（単位：件）】

コレウス・フォルスコリー	
下痢	2
その他（体調不良）	1

【4. 重篤度（単位：人）】

含有する指定成分等	軽微	軽度	中等度以上	死亡	未回答・不明	累計
コレウス・フォルスコリー	3	0	0	0	0	3
ドオウレン	0	0	0	0	0	0
プエラリア・ミリフィカ	0	0	0	0	0	0
ブラックコホシュ	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	0	3

（参考）軽　　微：摂取者が、医療機関を受診していない場合又は医療機関を受診したが治療を要さなかった場合
軽　　度：摂取者が、医療機関を受診し、治療を要した場合（入院治療を除く）
中等度以上：摂取者が、医療機関を受診し、入院治療を要した場合
死　　亡：摂取者が、死亡した場合

【5. 他のいわゆる「健康食品」の摂取状況/医薬品の摂取状況（単位：人）】

含有する指定成分等	他のいわゆる「健康食品」の摂取状況			医薬品の摂取状況			累計
	あり	なし	不明	あり	なし	不明	
コレウス・フォルスコリー	1	0	2	0	0	3	3
ドオウレン	0	0	0	0	0	0	0
プエラリア・ミリフィカ	0	0	0	0	0	0	0
ブラックコホシュ	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	2	0	0	3	3

【参考】指定成分等含有食品との関連が疑われる健康被害情報（令和2年6月1日～令和8年9月30日）

【指定成分等含有食品との関連が疑われる健康被害報告件数（年次別）】

含有する指定成分等	令和2年 6月1日～	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年 (9月末時点)
コレウス・フォルスコリー	106	121	87	69	73	33	63※1
ドオウレン	0	0	0	0	0	0	0
プエラリア・ミリフィカ	16	14	19	5	9	9	13
ブラックコホシュ	70	49	10	0	11	6	4
プエラリア・ミリフィカ＋ブラックコホシュ	6	6	17	8	0	0	0
合計	198	190	133	82	93	48	80

※1　うち2件は、食品衛生法第8条に基づく営業者からの報告ではない。
（消費者から保健所に直接健康相談があったもの。個人輸入品1件、国内製造品1件）

（令和2年6月から制度施行）
注：製品の販売数量については把握していない

【主な症状】

含有する指定成分等	主な症状
コレウス・フォルスコリー	下痢（軟便を含む）、腹痛、かゆみ・発疹、検査値の異常（肝機能）、便秘、頭痛　等
ドオウレン	健康被害報告なし
プエラリア・ミリフィカ	不正性器出血、月経不順、かゆみ・発疹、胸の張り、腹痛　等
ブラックコホシュ	胃痛（胃の不快感を含む）、かゆみ・発疹、月経不順、検査値の異常（肝機能）、頭痛　等
プエラリア・ミリフィカ＋ブラックコホシュ	不正性器出血、月経不順、かゆみ・発疹、腹痛　等